学校番号	102

令和３年度　国語科

教科	国語	科目	現代文Ｂ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	改訂版「現代文Ｂ」（数研出版）						
副教材等	三訂版「大学入試漢字 TOP2000」（いいずな書店） 「ロジック現代文 記述問題演習」（桐原書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１．授業に取り組む姿勢を自ら身につけよう。
　・授業では、質問・発言・話し合いを積極的に行い、主体的に参加する。
　・課題等は指示通りに行い、提出期限は必ず守る。
２．自宅学習の習慣を維持し、学習した内容を定着させよう。
　・小テストのための学習をおろそかにしない。
　・予習復習をする。
　・授業で取り扱っている文章は、自宅学習で必ず読み、さらに授業での疑問を整理する。
３．１学年で得た読解のための基礎知識を活かし、さらに深い読解と記述課題に挑戦しよう。
　・語彙力・読解力を身に付ける。
　・本文をよく理解し、読解に基づいた論理的な記述ができるようになる。

２　学習の到達目標

１．国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高める。
２．思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにする。
３．言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深める。
４．国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で表現されたものを深く理解しようと努めるとともに、言語文化などに対して関心を持ち、国語全般への探究心を持っている。	目的や場に応じ効果的に話し、的確に相手の話を聞き取り、そこから得られた知識や意見を総合的に考え、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	文章を的確に読み取り、目的に応じ、複数のテキストなどから幅広く読み、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。
評価方法	行動の観察 記述の点検 （プリント・必要に応じてノート等）	行動の観察 （授業中の発問に対する発言等）	記述の確認及び分析 （授業用ワークシート、宿題、小テスト、定期考査）	記述の確認及び分析、行動の観察（授業用ワークシート、宿題、指名音読、定期考査	記述の確認及び分析 行動の観察 （発問評価、課題小テスト、宿題、定期考査）

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期・中間	評論(一)	「手の変幻」(清岡卓行) ・評論の基本的な読み方を習得する ・文章の構成・展開を把握する。 ・「芸術のあり方」「芸術鑑賞の仕方」について考えを深める。	○	○	◎	○	○	a:「芸術のあり方」「芸術鑑賞の仕方」について正しく読解し、自らの考えを深めようとしている。 b:他者の意見をよく聴き、自分の考えを発表する。 c:設定された記述課題に取り組み、読解に基づいて正しくまとめられている。 d:筆者の考える「ミロのビーナスの魅力」「美」「芸術」について正しく理解する。 e:本文中の指示語や言い換えを正しく読み取っている。	a:行動の観察 b:授業中の発問に対するやりとりや話し合いの様子 c:授業で設定する記述問題の解答・定期考査 d:授業内の発問に対するやりとり・設定する記述問題の解答・定期考査 e:指名音読・発問・定期考査
	小説(一)	「山月記」(中島敦) ・表現効果を味わいながら、作品世界を鑑賞する。 ・登場人物の言動から、その性格と心情について考えさせる。	○	○	○	◎	○	a:登場人物が抱える問題を、自己にもあてはめて理解しようとしている。 b:他者の意見をよく聴き、自分の考えを発表する。 c:設定された記述課題に取り組み、読解に基づいて正しくまとめられている。 e:文脈に即しながら、丁寧に登場人物の心情を読み取ろうとしている。 d:難語句の多い文章であるが、粘り強く理解しようとしている。	
一学期・期末	評論(二)	「「内的成長」社会へ」 (上田紀行) ・対比や言い換えに着目しながら、各段落のつながりを意識して読解する。 ・「中間社会」の崩壊や「内的成長」社会について考えを深める。	○	○	◎	○	○	a:「中間社会」の崩壊や「内的成長」社会について正しく読解し、自らの考えを深めようとしている。 b:他者の意見をよく聴き、自分の考えを発表する。 c:設定された記述課題に取り組み、読解に基づいて正しくまとめられている。 d:「グローバリズムとナショナリズム」「原理主義」「コミュニティーの役割」について本文に即して理解する。 e:繰り返されるキーワードや言い換えを読み取り、各段落のつながりを意識する。	

	小説(二)	「三月の風」(阿部昭) ・登場人物の関係や時間の流れを正確に読み取る。 ・主軸となる「父親」の視点や作者の視点を読み取ることで、重層的な作品世界を読み味わう。	○	○	○	◎	○	a:「父親」や「息子」の心情を多角的に読み取ろうとしている。 b:他者の意見をよく聴き、自分の考えを発表する。 c:設定された記述課題に取り組み、読解に基づいて正しくまとめられている。 d:「父親」「息子」「母親」の人物像や心情を正確に読み取る。また作者がそれぞれの人物をどのように表現しているか本文に即して読み取ることができる。 e:登場人物の行動や発言から、それぞれの心理や人物像を読み取ることができる。	a:行動の観察 b:授業中の発問に対するやりとりや話し合いの様子 c:授業で設定する記述問題の解答・定期考査 d:授業内の発問に対するやりとり・設定する記述問題の解答・定期考査 e:指名音読・発問・定期考査
二学期・中間	評論(三)	「科学・技術の歴史の中での社会」(村上陽一郎) ・自然科学の分野の文章を読むことで、広い知識・視野を持てるようにする。 ・接続詞の働きに注意しながら文章を読み、明確な読解につなげる。 ・科学者の社会的責任・科学と人間の関りについて考えを深める。	○	○	◎	○	○	a:自然科学の分野について自分なりに理解を深めようとしている。 b:他者の意見をよく聴き、自分の考えを発表する。 c:設定された記述課題に取り組み、読解に基づいて正しくまとめられている。 d:「科学・技術の変容」「問題点」「科学者の社会的責任」について正しく理解する。 e:接続詞に注意して読み、筆者の見解を正しく読み取る。	
	小説(三)	「こころ」(夏目漱石) その1 ・長編小説を読む力を鍛え、ストーリー展開や登場人物の行動や内面の変化を的確につかむ。 ・心情表現や比喩表現をとらえて、視点人物の心情や行為の意味を理解する。	○	○	◎	◎	○	a:登場人物の立場・行動・心情を本文の表現に即して的確に読み、考えを深めようとしている。 b:他者の意見をよく聴き、自分の考えを発表する。 c:設定された記述課題に取り組み、読解に基づいて正しくまとめられている。 d:登場人物の心理や人間像を捉えながら、それぞれの内面の変化を理解しようとしている。 e:情景描写や比喩が表すものを理解しながら、作品を味わおうとしている。	

二学期・期末	評論(四)	「偶然とは何か」(竹内啓) ・難解な文章の中にある具体例・説明箇所を読み分け、文章を粘り強く読む。 ・「ロゴス」「必然と偶然」について文章に即して読み取り、「偶然」の価値について理解を深める。	○	○	◎	○	◎	a:筆者の考える「偶然の価値」について理解しようとしている。 b:他者の意見をよく聴き、自分の考えを発表する。 c:設定された記述課題に取り組み、読解に基づいて正しくまとめられている。 d:「偶然と必然」の関係・「ロゴスと神意」・「偶然と科学」について本文に即して理解しようとしている。 e:具体例や説明文の個所を丁寧に読み、本文を理解しようとしている。	a:行動の観察 b:授業中の発問に対するやりとりや話し合いの様子 c:授業で設定する記述問題の解答・定期考査 d:授業内の発問に対するやりとり・設定する記述問題の解答・定期考査 e:指名音読・発問・定期考査
	小説(三)	「こころ」(夏目漱石) その2 ※その1と同じ	○	○	◎	◎	○		
三学期	評論(五)	「消費されるスポーツ」 (多木浩二) ・本文中で繰り返されるキーワードに着目し、本文読解につなげる。 ・近代スポーツの特徴と大衆消費社会との関連性、近代スポーツの変容について読解する。	○	○	◎	○	○	a:近代スポーツの特徴と大衆消費社会との関連について、理解しようと努めている。 b:他者の意見をよく聴き、自分の考えを発表する。 c:設定された記述課題に取り組み、読解に基づいて正しくまとめられている。 d:「近代スポーツとメディアの関わり」を読み取り、「スポーツが社会を生み出す」という筆者の見解を読み取ることができる。 e:結論に至る論証を丁寧に読むことができる。	
	評論(六)	「人はなぜ働かなくてはならないのか」(小浜逸郎) ・語句の意味を的確につかみ、語彙を豊かにする。 ・仮説・一般論・筆者の見解という論理展開を把握する。 ・人間が「社会的存在」であることや、「働くこと」について考えを深める。	○	○	◎	○	◎	a:「他者とのかかわりの中で成立する自己」と「働くこと」について考えを深めようとしている。 b:他者の意見をよく聴き、自分の考えを発表する。 c:設定された記述課題に取り組み、読解に基づいて正しくまとめられている。 d:人が働く意義について筆者はどのように述べているか読み取り、結論として人間が「社会的存在」であるということ理解する。 e:一般論を論理的に否定しながら、最終的に筆者の主張につなげる論理展開を読み取る。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力
c:書く能力　　d:読む能力　　e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。